

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人権教育研究室
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「人権教育の基本方針」に基づき、人権教育科目の体系的なカリキュラムマップを作成する。	→人権教育科目のカリキュラムマップの有無。	C	B	B		
2. 人権教育研究の活動をメディアに定期的に発信するとともに、人権教育に関わる近隣の大学や公共機関・団体との連携事業を行う。	→メディアからの情報による講演会等への参加者数、および連携事業の開催数。	B	B	B		
3. 現在の指定研究の再編成を行い、人権教育の新たな展開を研究テーマとした指定研究チームを設置する。	→指定研究チームをひとつ新設する。	C	C	B		
4. 人権教育科目の企画立案とは別に、写真・パネル展やそれと関連したトークセッションを開催し、人権課題への理解と関心を深める機会を提供する。	→写真・パネル展とトークセッションの企画を、春学期、秋学期のどちらかで一回開催。	B	B	A		
5. 人権教育研究のホームページに、人権課題の解説や相談窓口の説明文書などに関するコンテンツを拡充する。	→追加拡充したコンテンツ数。	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	カリキュラムマップ策定に向けて他大学の人権教育の現状調査並びにフィールド・ワークを行った。
目標2	「全国大学人権教育交流会」への協力並びに参加を行った。また、2012年1月20日本学で実施された「発達障がい学生支援研修会」を共催した。
目標3	2012年度「国際人権」に関する研究チーム、「本学の人権教育基本方針策定に向けての研究」チーム、「在日外国人の人権保護のために大学が果たすべき役割についての研究」チームを組織するための準備並びにフィールドワークをおこなった。
☆ 目標4	2011年11月28日～12月2日図書館エントランスホールにて「ビルマ（ミャンマー）の今2011」宇田有三写真展を開催した。また、最終日に図書館ホールにて同テーマで宇田有三氏、秋元由紀子氏を迎えトークセッションを実施した。
目標5	本学主催並びに協力の講演会・研究会の情報発信をおこなった。
備考	